

清田中央地区を見守り、活動する

専門部・委員会

福祉厚生部

環境衛生部

防災防犯部

交通安全対策部

青少年育成部

体育部

女性部

地域情報部

福祉厚生部



部長 鈴木 亨



高齢者等の日常生活を支援

町連の福祉厚生部活動としては、独居老人・母子家庭・身体障害者の福祉に関する運動の取り組みを実施しております。

また、単町としては、老人クラブ等があり独自に取り組んでおりますが、町連としては、毎年敬老の日に77歳の喜寿の方、85歳以上の方を総合会館において、敬老会を行っております。年々高齢者が増加してきており、会場等の関係もあり今後の敬老会について検討した結果、新しく「敬老の日記念事業」として実施していくことになりました。年齢は85歳以上の方全員を対象とし、毎年「敬老の日」当日町連会長と各町内会(自治会)長の連名でお祝いの手紙と、お祝い品「赤飯の折詰弁当」と「紅白饅頭」を各単町の福祉厚生部・福祉推進委員・民生委員の方の協力により配布を行っております。

各単町でも年々高齢者が増加してきており、身体障害者・独居老人等の日常生活を支援し活動する目的の「福祉のまち推進委員会」が組織されつつあります。福祉厚生部と一体となり高齢者・身体障害者・独居老人家庭等の日常にお手伝い、安否の確認など必要な家庭に対し近隣の方々の協力をいただき活動を継続して取り組んでいきます。

環境衛生部とクリーンさっぽろ衛生推進事業について

札幌市には従来よりあった衛生協力会組織から、各区にある「クリーンさっぽろ衛生推進協議会」が結成されました。また、清田中央地区町内会連合会の保健衛生部より分離して「環境衛生部」が設立され、平成10年度より発足しました。

各町内会より選出された環境衛生部長はほとんど、クリーンさっぽろ衛生推進員を兼務され、地区町連の部活動は合同で、環境衛生事業に取り組んでまいりました。

主な事業として、毎年5月30日に、「自分の街は自分達できれいにするクリーン大作戦」を、町連・子ども会・老人クラブ・児童会館が一体でゴミ拾いを行ないます。

「クリーンさっぽろ衛生モデル地区」は、環境美化・環境衛生・ゴミ減量・リサイクル推進等を、全市のモデルとなる活動を実施します。

「清掃関連施設見学研修会」を毎年実施しております。主な施設として、ゴミ焼却の清掃工場・中沼プラスチック選別センター・資源物選別センター等です。自分達が出したゴミが、種類別にどのような処理がされているか、実際に見てゴミステーションにおける分別収集の必要性を更に理解が得られます。

環境衛生部



部長 山田 幸四郎



防災防犯部



部長 雨宮 稔

地域の安全を守るために

連合町内会発足と同時に部長として、地域の安全を守るために、関係機関が行なう行事に協力し、防犯活動や防災訓練等に参加しております。ボランティアによる防犯パトロールに多数の登録参加をいただいております、と同時に防犯パトロール隊を組織化し皆様の協力を得て参りました。

平成21年に編成の見直し検討の結果、組織を拡大化し、広範囲安全のため、名称を「地域安全パトロール隊」とし、交通・防犯・防災・公園・ゴミステーション・高齢者の見守り等あらゆる地域安全のための組織としました。

この組織に賛同された多数のボランティアの方の登録をいただいておりますが、現在も登録参加をお待ちしております。皆様の協力をお願いします。



交通安全運動を推進

対策部では、交通事故防止活動として、主に街頭啓発を行なっています。各期の交通安全運動の実践活動では、町連対策部員・交通指導員・他各関係者の協力を得て活動を進めて参りました。

交通少年団には、交通安全意識を深めるため、交通安全運動の各種の実施活動に参加しています。

最近では高齢者の交通事故が増加しており、とても残念に思っています。

交通安全対策部では今後も地域住民の皆さんと共に交通安全運動を推進し、町内会連合会の20周年を迎えられ、対策部員一同また新たな気持ちで交通安全に努力してまいります。



交通安全対策部



部長 赤坂 稔



青少年育成部



部長 竹内 博美



事故のない地域づくりの為に

青少年の健全育成を目的とした専門部です。具体的な事業としては「子ども会育成」「誘拐・痴漢等による事故被害未然防止」「地域内各種パトロールを通じた啓発活動」の3つを大きな柱としています。

「子ども会育成」は、現在13ある子ども会を全単町での結成を目指し、子ども会連絡会との連携を強化「夏休み合同ラジオ体操」「もちつき大会」等を通して子ども会結成を働きかけてきています。

「事故未然防止」は事故が起きてからではなく、起きる前に行動することを目的に、育成部、育成委員会、民生児童委員会、四校連で「青少年をはぐくむ会」を結成し、児童・生徒事故防止連絡協議会、地域安全パトロール隊等関連団体と連動して活動しています。平成15年からは、清田南小・緑小地域開放事業運営委員会に参加、学校・地域・家庭が連携し事故のない地域づくり体制を構築してきています。

「啓発活動」は、地区内各種夏まつり・盆踊り、夏休み中夜間パトロール、青少年を見守る店への加入依頼（現在104商店・事業所）を実施しています。

地域安全パトロール隊への登録、子ども110番の家への登録、登・下校時、緊急時の訓練等地区内住民ならびに関連団体からの協力により、青少年をめぐる環境を明るく安全な地域づくりを目指していますが、昨今の社会環境から想定できない事が起こりうる可能性があります。今後とも地道ながら継続した活動を展開していきます。

地域の社会体育行事を推進

体育部は社会体育の奨励レクリエーション行事・その他体育の推進を目的とした専門部ですが、各種行事には常に裏で支えてくださる女性部・青少年育成委員会の方々のご協力によって各種行事を進めてまいりました。

体育部の行事には、6月に「パークゴルフ大会(第13回)」、7月に「成人野球大会(第20回)」、8月には「清田地区対抗壮年野球大会(第12回)(40歳以上)」があり、清田中央地区町内会連合会は第2回から3年連続も含め、4回の優勝・2回の準優勝と輝かしい記録があります。9月は「歩く運動(第19回)」があり、清田緑小学校から白旗山を経てふれあいの森まで約10kmを歩きます。下は4歳から上は80歳くらいまで毎年70名位の参加があります。ふれあいの森では青少年育成委員の皆さんが焼肉やトウモロコシを焼いて待っています。到着後、全員でおいしくいただいて帰ります。

平成15年までは、ゲートボール大会を行なっていましたが、参加チームがなくなり中止、かわりに2月に「玉入れ大会(第7回)」が開催され現在に至っています。

現在体育部の行事として前文の通り年5回の行事を実施しておりますので、地域行事として一人でも多くの人に参加されることを望みます。これからもよろしく願い致します。

体育部



部長 渡邊 貞俊



女性部



部長 見上 佳子

幅広い活動で家庭を支援

女性部は、教養・福祉事業・交通安全など家庭の身近な事を目的とした部です。福祉事業として一円玉募金活動を、地域の皆様の協力を得て区内の福祉施設他に贈呈しています。

交通安全は家庭からを目的に、母の会として新1年生登校時、街頭啓発や交通標語のしおりを作り新入学のお祝いをしています。

各町内会活動の参考になるように、18年度はゴミ分別の出前講座を開催しました。19年度はフラワークラフト、20年度は押し花、21年度は陶芸の講習会を行ないました。講師は地域の方をお願いしました。

18年度に白旗山で行なわれたノルディック世界大会に甘酒のおもてなしに参加でき、各国の方と触れ合うすばらしい経験ができました。

今後も、女性部活動を充実させていきたいと思っております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。



身近な情報提供で絆づくりを

私は、平成20年5月に町連地域情報部長に就任いたしました。

地域情報部の主な仕事は、「町連だより」の編集とホームページの管理です。「町連だより」は当初年2回の発行でしたが、平成20年度から年3回の発行となり、今では地域の情報誌として定着しております。掲載内容も、地域の皆様のご協力を得ながら、出来るだけ多くのイベントを掲載することを主眼に取り組んでおります。おかげさまでたくさんの方から身近な情報をいただき、年々紙面も充実してまいりました。各単位町内会・町連各事業部に加えて、最近では各学校からも多くの話題を提供していただいております。

また、老人クラブ・子ども会・福祉のまち推進センター・児童会館など多くの皆様からもさまざまな話題を提供していただいております。ここにあらためてお礼申し上げます。また、ホームページの方も「町連だより」同様多くの方から情報提供をいただき、また、たくさんの方々に関連していただき、先日10,000アクセスを達成することができました。こちらも常に最新情報の提供を念頭に更新を続けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

今後とも町連だより編集委員19名とホームページ委員7名は、地域の情報提供と絆づくりのため一致協力して取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域情報部



部長 古賀 陽一



清田中央地区町内会連合会組織図

清田中央地区町内会連合会

- ・福祉厚生部 ・環境衛生部 ・防災防犯部
- ・交通安全対策部 ・青少年育成部 ・女性部 ・体育部
- ・地域情報部（町連だより編集委員会・ホームページ委員会）
- ・マップ制作委員会 ・自主防災組織

単位町内会

- ・清田第二町内会
- ・清田第三町内会
- ・清田第四町内会
- ・清田第五町内会
- ・清田ファミリータウン町内会
- ・清田自治会
- ・清田南若葉会
- ・清田南中央町内会
- ・清田緑町内会
- ・清田南町町内会
- ・清田中央町内会
- ・清田団地北町町内会
- ・清田東町町内会
- ・清田高台町内会
- ・清田団地元町町内会
- ・清田西町町内会
- ・清田メイユール喜寿自治会
- ・しんえい西自治会
- ・ヒルズガーデン清田町内会

外郭団体

- ・清田中央地区老人クラブ協議会
- ・清田中央地区交通少年団
- ・清田中央地区子ども会連絡会
- ・清田中央地区児童・生徒事故防止合同対策協議会
- ・清田中央地区福祉のまち推進センター
- ・清田中央パークゴルフ同好会
- ・清田中央地区少年消防クラブ協議会

清田中央地区を支える

外郭団体

清田中央地区老人クラブ協議会

清田中央地区子ども会連絡会

清田中央地区福祉のまち推進センター

清田中央地区少年消防クラブ協議会

清田中央地区交通少年団

清田中央地区児童・生徒事故防止合同対策協議会

清田中央パークゴルフ同好会



清田中央地区 老人クラブ協議会

副会長 佐藤 正男

創立20周年を祝して

清田中央地区町内会連合会の創立20周年を迎えられ益々の発展、心よりお慶び申し上げます。20年の歳月を経て、現実にはIT企業の進出によりインターネット・携帯電話の世代に入り、私共町連の外郭団体として、協議会発足以来、常日頃のご指導に深く感謝しております。

老人クラブ協議会は現在14クラブ816名の会員を以って活動しておりますが、中央地域における三世代間の格差もあり、協力を得てその知識や経験を活かし、福祉社会の向上に努め、これから一層進展する高齢化社会の中にあって励まされたい、長寿の喜びを実感出来得る様努力してまいります。

14クラブ会員の活動状況を写真で紹介させていただきます。





清田中央地区 子ども会連絡会

会長 澤野 静子

創立20周年に寄せて

平成10年に9子ども会で「連絡会」を結成し、以来4子ども会が誕生加入し、現在13子ども会で活動しております。子ども会同士の情報交換の場とし、交通少年団・消防クラブ員の育成と各子ども会行事等の相談・支援など、お互いに協力し合い交流を深めてまいりました。またジュニアリーダーも積極的に参加協力してくれています。

平成20年の交流会で子どもたちから“皆で一緒にラジオ体操したい”と強い要望があり、地域の皆様のご支援のもと7月26日清田西公園を会場に第1回子ども会合同ラジオ体操を開催することができました。当日は約300余名の参加者で大きな成果をあげ行事のひとつになりました。

平成21年には南連協の夏まつり「子ども余興の部」を担当させていただき、子どもたちの活躍する姿に会場は割れんばかりの拍手で大盛況を治めました。

平成10年から毎年続けることができました12月の「子ども会合同もちつき大会」では、他地区や小学校からも問い合わせがあるほど定着し大人気で、日本伝統のもちつきが見直されてきています。参加者も児童会館の子どもたちを含め約200名を超え、父兄はもちろんのこと三世代にわたり力を合わせ、一緒に味わい喜びを分かち合う体験は子どもたちの心奥深くにすばらしい思い出として刻まれることでしょう。これもひとえに町連はじめ各町内会長・関係各位皆様のご支援があったからこそと心より感謝申し上げます。

21世紀の国内外で活躍するであろう子どもたちにエールを送り、育成者の一人としてこれからも仲間と協力し合い、子どもたちに関わり合える喜びを分かち合いたいと思っております。

地域の皆様には今後共、子どもたちの安全と育成に温かなご支援、ご指導宜しく願い申し上げます。



子ども会合同ラジオ体操



子ども会連絡会交流会



南公園夏まつり



南公園夏まつり



もちつき大会



もちつき大会

■清田中央地区子ども会連絡会現況

子ども会	町内会名	設立
すずかけ	清田自治会	昭和58年
ミラクル	清田第四町内会	平成20年
星空	清田第三町内会	昭和62年
ジャンボくりの実	清田東町町内会	昭和51年
わんぱく	清田中央町内会	昭和49年
つくしんぼ	清田団地元町町内会	昭和58年
みどり	清田緑町内会	平成12年
メイユール	メイユール喜寿自治会	平成18年
清田太陽	清田高台町内会	昭和49年
清田そよかぜ	清田西町町内会	昭和48年
竹の子	清田南中央町内会	昭和50年
しらかば	清田南町町内会	昭和47年
ピバ!ヒルズ	ヒルズガーデン清田町内会	平成20年



清田中央地区 福祉のまち推進センター

事務局長 見上 佳子

安心して暮らせる環境を目指して

清田中央地区福祉のまち推進センターは、平成11年4月1日に地域住民が安心して暮らせるまちづくりを目的に設立しました。

当時は、高齢者を対象とした見守り活動や独居者対象の食事会・配食サービスを行なっていました。また、福祉相談室では福祉に関する心配ごとや困りごとや制度の手続きなどを、地域の民生委員・児童委員と地区福祉推進員が当番制で対応していました。

社会情勢の変化に伴い、福祉は高齢者から乳幼児まで幅広くなってきました。そこで、当センターも子育てサロンを2ヶ所開設することとなりました。「清ちっちクラブ」は、平成16年11月25日から毎月1回木曜日に清田中央児童会館で行なっています。「さくらキッズ」は、平成18年9月11日から清田南町町内会館で毎月1回月曜日に行なっています。場の提供と見守りを中心に、参加者もスタッフも楽しい時間を過ごしています。クリスマス会には、サンタクロースも登場しにぎやかに開催しています。スタッフは、運営委員・福祉推進員が中心になり、民生委員・児童委員他の協力で、参加親子の見守りと会話の中で子どもの成長などの話をしています。子育て中以外の一般の方も参加していただき、気楽に交流できるサロンにしていきたいと思えます。

「ふれあい広場」は、設立当初より地区の高齢者を対象に年1回交流会を開催しています。昨年度の事業でPR活動に力を入れたことにより、地域の福祉推進員が声をかけやすくなり、たくさんの方が参加して楽しんでいただいています。「介護予防教室」は、平成20年度から介護予防センターと開催し、将来介護を受けないように情報や体験を幅広い世代に案内しています。

福祉のまち推進センターは、これからも関係機関などと連携を図って、安心して暮らせる環境を目指して活動してまいります。



高齢者交流会



介護予防教室



会議・研修



一日研修



PR活動



子育てサロン



さくらキッズ



清ちっちクラブ





清田中央地区 少年消防クラブ協議会

部長 臼井 敏勝

創立20周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会創立20周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

私たちクラブは平成12年6月吾クラブ内にて一番新しいクラブとして誕生しました。部長1名副部長2名でクラブ員の規律訓練を行ない、規律正しい訓練のもとで火の恐ろしさを知ってもらい、自分達の住む所が火災や災害がおきない街になるよう心がけております。

1年間の年間事業計画では、8月のクラブ員キャンプ・10月のとまりん館泊原発・余市宇宙記念館の見学・吾クラブの消防局石狩のヘリポート見学を行なっております。





清田中央地区 交通少年団

世話人代表 赤坂 稔

創立20周年を祝して

連合町内会が発足後、まもなく交通少年団が結成され、活動を通じて正しい交通マナーと交通ルールを習得することを目的とし、各団体のご協力のもと交通安全運動に参加し、清田南小学校・清田緑小学校両校での少年活動を進めてまいりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

少年団の活動

- ①新1年生を迎えて清田南小・清田緑小両校の合同交通安全パレード
- ②新1年生の登校時、全団員が分担して交通指導
- ③羊ヶ丘通りスタンド前で街頭啓発(8月)
- ④清田ライオンズクラブの交通安全運動に参加
- ⑤清田中央地区交通少年団、入退団式(3月)





清田中央地区 児童・生徒事故防止合同対策協議会 〈略称 守る会〉

会長 青木 一夫

子どもが安心できる環境を

守る会は、清田中央地区の子供を誘拐・痴漢行為から守る目的で関連団体・機関で結成し、「子ども110番の家設置」「注意喚起看板の設置」「車両によるパトロール」でスタートし、子どもが安心できる環境を地域で取り組むために、交通安全を含め「地域防災・防犯安全マップ」を作成し活動を続けてきています。

平成20年からは、合同対策協議会を母体とし町連、地区関連団体・機関・企業を一体化した清田中央地区地域安全パトロール隊(発足時防犯パトロール隊)を編成し、交通安全を含めた登・下校時安全確保、緊急時の対応、不審者情報をFAX送信等の活動を行なっています。

隊員は、日常行動時でもユニフォームを着用し、青色ランプ搭載車、私有者車両ステッカー等常に地域は防犯に取り組んでいることを示し、犯罪者に対する抑止活動としてきました。





清田中央 パークゴルフ同好会

会長 鈴木 亨

創立20周年に寄せて

清田中央パークゴルフ同好会は結成12年を迎えました。同好会がつくられた経緯を振り返ってみますと、清田中央地区にパークゴルフ場がないため、パークゴルフ愛好者の強い要望のもと、当時清田中央町連の顧問だった菅井市会議員と町連役員の方々の積極的な努力、新生清田区の区長さんの理解とご協力で、平成10年10月に清田配水池の上に「清田パークゴルフ場」がオープンしました。

このパークゴルフ場の使用については、地域の管理運営団体が責任をもつという条件付きのものでした。そこで清田中央町連では、まず町内会ごとに会員を募集したところ430名に達したので、9月「清田パークゴルフ同好会」を結成、パークゴルフ場の自主管理運営を原則として発足、9月に仮オープンし平成11年5月に正式オープンしました。

会員の皆さんはじめ、パークゴルフ愛好者、地域住民の方々に大変喜ばれ、またパークゴルフ場として人気が高まり「健康作りの場」「心の安らぎの場」としてパークゴルフ愛好者同士で楽しくプレーができるコースとして発展と充実を重ねてきました。平成16年8月から約2年間清田配水池の耐震工事实施のため閉鎖となり、会員の皆さんはじめ、パークゴルフ愛好者の方々に大変ご迷惑をお掛け致しました。この閉鎖期間中、同好会の行事は他のコースで春・秋の大会を会員皆さんの協力のおかげで開催してきました。平成18年7月1日新しい「清田中央・みどりパークゴルフ場」がオープンしました。会員・パークゴルフ愛好者・地域住民の皆さんには約2年弱ご不便をおかけしました。

新しいパークゴルフ場は、皆さんのご期待に添える素晴らしいパークゴルフ場によりがえりました。全体としてパークゴルフ場は広くなりました。コースの特徴としてヒバリコースは長いコース、かっこうコースはドッグレッグが多く砲台のあるグリーンがあります。またコースの周辺は、美しい緑の木に囲まれた景観の良いコースで、清田区のシンボルとして皆さんから愛される素晴らしいパークゴルフ場になると思っております。この素晴らしいパークゴルフ場で各種大会を開催、また8月9日（パークゴルフの日）に地域住民とのコミュニケーションを図るためパークゴルフフェスティバルを開催し、パークゴルフ場を1日解放し親子で遊ぶ親子パークゴルフ大会等の行事を行ない、地域住民より大変好評をいただきました。

今後も会員・パークゴルフ愛好者に、快適なゲームを楽しめるように努力していきます。





清田団地 商店街協同組合

理事長 臼井 敏勝

創立20周年を祝して

町内会連合会が本年で創立20周年を迎えられることとなり心からお祝い申し上げます。貴町内会連合会の皆様には幅広い活動を通して地域のためご尽力されております事に深く敬意を表します。また日頃より、当組合活動に対しまして多大なるお力添えをいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

当組合も昭和57年9月に設立して28年を迎えることとなりました。これもひとえに地域の皆様に支えていただいたの28年でありました。当組合は、札幌市商店街振興組合連合会、豊平・清田商店街連絡協議会と連携し、地域の活性化のお役に立ちたいとの思いでイベントを開催・協賛してまいりました。中でも夏まつりは今年で23回目を迎え、今ではすっかり地域の皆様に親しまれ毎年多くの方々楽しんでいただいております。また冬の身近なイベントとして、地域の皆様とのふれあいの場を創出し、安全で安心できる暮らしへの願いをこめ、手作りの心温まるキャンドルに火をともし「まちの灯」を3年前より開催、その他旅行会・パークゴルフ大会など地域の皆様との連帯感の共有を目指してまいりました。

こうした活動を支えていただいているのも町内会連合会の皆様が地域のためご尽力いただいている賜物と思っております。今後とも町内会連合会と清田団地商店街協同組合が更に連携を深いものにし、地域住民のため住み良い街づくりを目指してまいりたいと思っております。

終わりに、この20周年を契機に更に一致団結し、ますます素晴らしい街になれますよう祈念いたすとともに、皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げましてお祝いの言葉といたします。



「思い出」～功労者を偲んで～



加賀谷 正光

大正15年6月19日生

平成20年2月5日歿

享年82歳

経歴：連合会 会長
連合会 副会長
福祉厚生部長
青少年育成部長

父「加賀谷正光」に寄せて

亡くなって2年の月日が過ぎたというのに喪失感はまだ消えていません。やはり父の存在は大きかった。

娘から見ての「加賀谷正光」も、争いを好まず温厚で優しく、それでいてリーダーシップのとれる人でした。私は父が色々な役職で、どんなことをしているのかということをはっきりと把握していませんでした。しかし葬儀の時に見た、入りきれないほどのおびたしい弔問客、置ききれないほどのたくさんの花輪、これらが父の偉大さ・父のしてきたことの偉大さを十分私に伝えてくれました。

生前本人が望んでいた「あと2年」という時間がもし許されていたなら、桜の季節の今頃はファイル片手に颯爽と愛車ブルーバードで西に東に走り回っていたことでしょう。そして大好きだったパークゴルフにも精を出していたことでしょう。

私達は「加賀谷正光」の家族であることに誇りを持ってこれからも生きていきます。そして清田のすべての町内会の皆様にも父のことを覚えておいていただければ幸いです。父が最期まで愛していた町内会活動がこれからも益々発展することを祈念しております。

西木 ひろ子(正光氏の長女)



大藤 一典

昭和33年8月1日生

平成22年2月10日歿

享年51歳

経歴：連合会 理事

自治会の発展のために…

会社員である主人が、父の発足したメイユール喜寿自治会の会長の跡を継ぎ町連の理事をして参りましたが、平成19年に発病した珍しい病気の為2年半の闘病の甲斐なく51歳の若さで死去しました。

主人はスポーツ好きでお酒を飲むと得意のカラオケを団地のスナックで喉を鍛えていたのを思い出しますと、今はまだ涙になってしまいます。会長になってからは、自治会の発展の為に力を注ぎ、長い入院生活では理事の仕事を休職していたことが気掛かりの一つであったようです。

亡き主人の想いに応えるよう微力ながら後任として引き継いでいきたいと思っております。

大藤 留美子(一典氏夫人)